

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	42
施設名	葛飾区南白鳥保育園
施設所在地	葛飾区白鳥3-2-1
法人名	葛飾区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【自然】

～自然のなぜ？なに？ 虫をもっと好きになろう～

<テーマの設定理由>

アオムシやカブトムシなどの昆虫・生き物、園庭の花壇の花などに興味関心を持っている子が多く、園庭に出るとダンゴムシ探しやお花の観察が盛んに行われていた。

また、カブトムシやアオムシは毎年幼虫から飼育し、そのなかで成長の過程に興味を示す姿が多く見られていたため、より自然に関心を持てるよう本テーマにした。

2. 活動スケジュール

令和7年5月：テーマ決定

令和7年5月：必要物品等購入・準備

令和7年5月～令和8年3月：実施

春～秋：ダンゴムシ探し・飼育

春：アゲハ蝶の成長観察（葉っぱの交換・成長の変化を観察）

年間：カブトムシの幼虫の世話（霧吹き・マットの交換・観察）

春～夏：カブトムシの成虫の世話（餌やり・マットの交換・観察）

夏～秋：カブトムシの卵を見つけ幼虫を育てる（図鑑で調べる・観察）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

拡大鏡や飼育ケースは、子どもたちが興味関心を示した際に自由に使ったり観察出来るように配置し、また図鑑なども「なぜ？なに？どうして？」の興味が出た際にすぐに手に取り調べられるように各クラスに用意した。

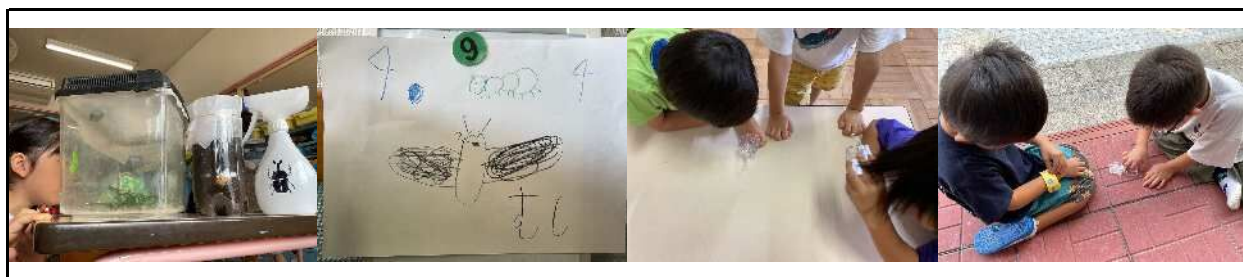
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・園庭で虫探し（ダンゴムシ・青虫など）を楽しむ。見つけた虫を拡大鏡で観察したり、図鑑で調べてみたりする。
- ・カブトムシの幼虫を育てる。飼育マットを交換したり、サナギになる様子を観察する。
- ・サナギが成虫になる様子を観察したり飼育ケースを掃除したり、ゼリーなどのえさやりをする。
- ・実際に触れてみたり、気づきを通して興味関心を深めていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・アゲハ蝶を青虫から飼育する中で何匹サナギになり何匹蝶になったかなど数え記録していく中で、数字や文字への興味や活用するきっかけにもなった。
- ・ダンゴムシを拡大鏡に入れて観察する中で『これはなに？』『おなかに赤ちゃんがいるんだって！』『背中に黄色い点々があるのはなんで？』とたくさんの発見や気づき、またそこから図鑑を持ち出して、見比べたりしながら知識を深めていく姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・拡大鏡を用いて観察したことにより、足がどのようなになっているか、雄雌の違い、ダンゴムシの赤ちゃんがどのように成長していくのかなど、普段では気づかないようなところまで、夢中になって見たり気づく姿があった。また図鑑があったことで、子どもたちの“もっと知りたい！調べたい！”という興味関心がさらに深まるきっかけとなった。
- 活動を通して虫が苦手だった子が虫に触れるようになったり、世話をしたり、虫の命について考えたりと、子どもたちならではの視点や気づきにも驚かされ、子どもたちがのびのびと興味を深めていける環境設定をしていく重要さを改めて感じた。